Version:04
Update (MM/DD/YYYY):10/15/2026

安全データシート

JISZ7253:2025 に準拠

項目 1:化學物質の識別と企業識別

1.1 製品識別子

化学物質等の名称	AmMag™ Elite Protein A Magnetic Beads - 2G [Affinity chromatography Magbeads(rProtein)]
製品コード	L01074
CAS 番號	適用できない
EC 番號	適用できない
分子式	適用できない

1.2 製品の推奨使用方法と使用上の制限

推奨用途	それは実験室関連実験（非臨床目的）に用いられ、そして真核システムと原核システムを精製するための発現上清液または分解物中のタンパク質と抗体。
使用上の制限	一般産業用途にのみご使用ください。

1.3 安全データシートの供給元の詳細

會社名	ジェンスクリプトジャパン株式会社
會社の住所	東京都千代田区神田東松下町 48 ism 神田 4F
郵便番号	〒101-0042
電話番號	03-6811-6572
ファックス番號	03-6811-6573
電子メールアドレス	product@genscript.com

1.4 緊急連絡電話番號

緊急連絡電話番號	03-6811-6572

項目 2:危険有害性の要約

2.1 化學品の GHS 分類

引火性液体	区分 3
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2B
発がん性	区分 1A
生殖毒性	区分 1A
特定標的臓器毒性–反復ばく露	区分 1

2.2GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル	
注意喚起語	危険

2.3 危険有害性情報

H226	引火性液体及び蒸気
H320	眼刺激
H350	発がんのおそれ
H360	生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
H372	長期にわたる，又は反復ばく露による臓器の障害

2.4 注意書き

2.4.1 安全対策

P203	使用前に全ての安全説明書を入手し，読み，従うこと。
P210	熱，高温のもの，火花，裸火及び他の著火源から遠ざけること。禁煙。
P233	容器を密閉しておくこと。
P240	容器を接地しアースをとること。
P241	防爆型の電気/換気/照明/機器を使用すること。
P242	火花を発生させない工具を使用すること。
P243	静電気放電に対する措置を講ずること。
P260	ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないでください。
P264	取り扱い後は手や體の他の部分（関連する場合）をよく洗ってください。
P270	この製品を使用するときに，飲食又は喫煙をしないこと。
P280	保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を著用すること。
P264+P265	取り扱い後は手や體の他の部分（関連する場合）をよく洗ってください。 眼を触らないこと。

2.4.2 応急措置

P318	ばく露又はその懸念がある場合は，医学的助言を求めること。
P319	気分が悪い時は，医療処置を受けること。
P337+P317	眼の刺激が続く場合：医療処置を受けること。
P370+P378	周囲の状況に適した消火剤を使用してください。
P303+P361+P353	皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。 接触部位を水【又はシャワー】で洗うこと。
P305+P351+P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

2.4.3 保管

P405	施錠して保管すること。
P403+P235	換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

2.4.4 廃棄

P501	内容物/容器は、地域/地域/國家/國際規制に従って廃棄してください。

2.5 危険の説明

2.5.1 物理的および化學的危険性

可燃性液体、その蒸気と空気の混合物は爆発性混合物を形成する可能性があります。

2.5.2 健康被害

吸入した場合	製品を吸入すると、不快感に続いて健康に悪影響を与えたり、呼吸器官に炎症を起こしたりする可能性があります。
飲み込んだ場合	製品を誤って摂取すると、人の健康に害を及ぼす可能性があります。
皮膚に付着した場合	切り傷、擦り傷、損傷などを通じて血流に入ると、全身に傷害を引き起こし、有害な影響を及ぼす可能性があります。
眼に入った場合	この製品は軽度の目の刺激を引き起こす可能性があります。

2.5.3 環境ハザード

SDS 第 12 章を参照してください。

項目 3:組成及び成分情報

3.1 物質/混合物

混合物

成分	CAS 番號	EC 番號	濃度（重量パーセント、%）
アガロース	9012-36-6	232-731-8	2
蛋白質 A	-	-	＜0.1
えんかナトリウム	7647-14-5	231-598-3	＜0.1
りん酸水素ナトリウム	7558-79-4	231-448-7	＜0.1
エタノール	64-17-5	200-578-6	10-15
水	7732-18-5	231-791-2	83-88

項目 4:応急措置

4.1 応急措置の説明

一般的なアドバイス	直ちに医師の診察が必要です。担当の医師にこの安全データシート(SDS)を見せてください。
眼に入った場合	少なくとも 15 分間、多量の水で十分に洗い流し、不快感がある場合は医師に相談してください。
皮膚に付着した場合	汚染された衣服や靴を直ちに脱いでください。石鹸と水で少なくとも 15 分間洗い流し、不快感がある場合は医師に相談してください。
飲み込んだ場合	意識のない人に口から何も与えないでください。すぐに医師または中毒管理センターに連絡してください。
吸入	被害者を新鮮な空気のある場所に移動させてください。呼吸が困難な場合は、酸素を投与してください。被害者が物質を摂取または吸入した場合は、口対口の人工呼吸器を使用しないでください。呼吸していない場合は、人工呼吸器を使用し、直ちに医師の診察を受けてください。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	医療従事者が関係する物質を認識していることを確認してください。自分自身を保護し、汚染の拡大を防ぐための予防措置を講じてください。

4.2 急性症状及び遅発性症状の最も重要な微候症状

1	繰り返しまたは長期間の職業上の暴露により、人体への物質の蓄積が起こり、懸念が生じる可能性があります。

4.3 応急措置をする者の保護に必要な注意事項

1	発火源をすべて取り除き、換気を強化してください。
2	皮膚や目に触れないようにしてください。
3	蒸気やミストを吸入しないでください。
4	呼吸器を含む個人用保護具を使用してください。

4.4 医師に対する特別注意事項

1	症状に応じて治療します。
2	症状が遅れて現れる場合があります。

項目 5:火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤	周囲の状況に適した消火剤を使用してください。
使ってはならない消火剤	使用できる消火器の種類に制限はありません。

5.2 火災時の特有の危険有害性

1	火災が発生した場合、危険な燃焼ガスまたは蒸気が発生する可能性があります。
2	加熱または火災により爆発的に膨張または分解する恐れがあります。

5.3 特有の消火方法

1	発火源から遠ざけてください。
2	禁煙。
3	汚染された消火水は別途収集し、排水溝に排出しないでください。
4	火災残留物および汚染された消火水は、現地の規制に従って処分する必要があります。

5.4 消防士の保護

1	あらゆる火災の場合と同様に、自給式呼吸装置（MSHA/NIOSH 認定または同等のもの）と完全な保護具を着用してください。
2	十分なカバーを備え、安全な距離から消火活動に取り組んでください。
3	消火水が地表水や地下水系を汚染するのを防ぎます。

項目 6:漏出時の措置

6.1 人體に対する注意事項，保護具及び緊急時措置

1	十分な換気を確保してください。発火源をすべて取り除いてください。静電気放電に対する予防措置を講じてください。
2	安全な場所に人員を避難させてください。流出/漏れから人を遠ざけ、風上に避難させてください。

3	個人用保護具を使用し、ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないでください。

6.2 環境に対する注意事項

1	安全であれば、それ以上の漏れやこぼれを防いでください。
2	環境への排出は避けなければなりません。

6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

1	漏れた液体は換気の良い場所に保管してください。
2	漏れの原因を可能な限り遮断してください。
3	付着または収集された物質は、適切な法律および規制に従って速やかに処分する必要があります。
4	流出した物質を乾燥した砂または不活性吸収剤に吸収させてください。大量に流出した場合は、防護壁などで流出を封じ込めてください。
5	流出物を封じ込め、電気保護付き掃除機または濡れたブラシで集めて容器に回収します。

項目 7:取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取り扱いのための注意事項

1	取り扱いは換気の良い場所で行ってください。
2	適切な保護具を着用してください。
3	皮膚や目に触れないようにしてください。
4	熱/火花/裸火/高温のものから遠ざけてください。

7.2 安全な保管條件

1	容器はしっかりと閉めてください。
2	容器は乾燥した涼しい、換気の良い場所に保管してください。
3	熱/火花/裸火/高温のものから遠ざけてください。
4	不適合な材料や食品容器から離して保管してください。

7.3 安全な容器包装材料

安全な容器包装材料	データなし

項目 8:ばく露防止及び保護措置

8.1 管理濃度

8.1.1 職業暴露限界値

成分	データソース	OELs	特定の制限	
			ppm	mg/m³
エタノール	米国-ACGIH	TWA	-	-
		STEL	1000	-

8.1.2 生物学的ばく露指標

生物学的ばく露指標	関連する規制はありません

8.1.3 監視方法

1	EN14042 職場の雰囲気。化学物質および生物剤への暴露を評価するための手順の適用および使用に関するガイド。
2	GBZ/T300 および GBZ/T160 シリーズ規格職場空気中の有害物質の測定

8.2 設備対策

1	特に密閉された場所では、十分な換気を確保してください。
2	洗眼ステーションと安全シャワーが作業場所の近くにあることを確認してください。
3	緊急出口と必要な危険排除エリアを設定します。
4	適切な産業衛生および安全基準に従って取り扱ってください。
5	防爆型の電気/換気/照明/機器を使用すること。

8.3 保護具

一般的な要件	
眼の保護具	適切な安全メガネを着用する必要があります。
手の保護具	静電気防止化学保護手袋を着用する必要があります。
呼吸器の保護具	適切な個人用呼吸保護具を着用する必要があります。
皮膚及び身體の保護具	静電気防止化学防護服と静電気防止靴を着用する必要があります。

項目 9:物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化學的性質

物理狀態	固液混合物
色	黒色
臭い	データなし
臭気閾値	データなし
pH	データなし
融點／凝固點(℃)	データなし
初留點及び沸點範囲(℃)	データなし
引火点(密閉式,℃)	45（持続不可能な燃焼）
蒸発速度	データなし
可燃性	データなし
爆発上限界/下限界[%(v/v)]	上限:データなし;下限:データなし
蒸気圧	データなし
相対ガス密度（空気＝1)	データなし
相対密度(水＝1)	データなし
溶解度(mg/L)	データなし
n-オクタノール/水分配係数	データなし
自然発火點(℃)	データなし
分解溫度(℃)	データなし
動粘性率	データなし

粒子特性	適用できない

項目 10:安定性及び反応性

10.1 安定性及び反応性

反応性	互換性のない物質と接触すると、分解やその他の化学反応を引き起こす可能性があります。
化學的安定性	適切な操作および保管条件下では安定しています。
危険有害反応可能性	酸化剤と接触すると重篤な反応を引き起こし、火災や爆発を引き起こす可能性があります。
避けるべき條件	互換性のない物質、熱、炎、火花。
混触危険物質	酸化剤、アルカリ金属、アルカリ土類金属、アルミニウム。
危険有害な分解生成物	通常の保管および使用条件下では、危険な分解生成物は生成されません。

項目 11:有害性情報

11.1 急性毒性

成分	**LD_{50}(オーラル)**	**LD_{50}(皮膚)**	**LC_{50}(吸入,4h)**
エタノール	7060mg/kg(ねずみ)	データなし	39mg/L(ねずみ)
えんかナトリウム	3000mg/kg(ねずみ)	>10000mg/kg(うさぎ)	データなし
りん酸水素ナトリウム	17000mg/kg(ねずみ)	データなし	データなし

11.2 発がん性

成分	**IARC モノグラフによる発がん性物質のリスト**	**NTP による発がん性物質に関する報告書**
アガロース	リストに載っていない	リストに載っていない
蛋白質 A	リストに載っていない	リストに載っていない
えんかナトリウム	リストに載っていない	リストに載っていない
りん酸水素ナトリウム	リストに載っていない	リストに載っていない
エタノール	カテゴリ 1(述べる 1)	リストに載っていない
水	リストに載っていない	リストに載っていない

述べる 1:アルコール飲料のみ

11.3 その他

皮膚腐食性／刺激性	入手可能なデータに基づくと、分類基準は満たされていない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	眼刺激(区分 2B)
皮膚感作性	入手可能なデータに基づくと、分類基準は満たされていない
呼吸器感作性	入手可能なデータに基づくと、分類基準は満たされていない
生殖毒性	生殖能又は胎児への悪影響のおそれ(区分 1A)
STOT—単回ばく露	入手可能なデータに基づくと、分類基準は満たされていない
STOT—反復ばく露	長期にわたる，又は反復ばく露による臓器の障害(区分 1)
誤えん有害性	入手可能なデータに基づくと、分類基準は満たされていない
生殖細胞変異原性	入手可能なデータに基づくと、分類基準は満たされていない

項目 12:環境影響情報

12.1 水生環境急性有害性

成分	魚	甲殻類	藻類またはその他の水生植物
エタノール	LC50:11200mg/L(96h)(淡水魚)	EC50:9950mg/L(48h)(オオミジンコ)	データなし
えんかナトリウム	LC50:5840mg/L(96h)(淡水魚)	EC50:2120mg/L(48h)(オオミジンコ)	データなし
りん酸水素ナトリウム	LC50:＞100mg/L	EC50:>100mg/L(48h)(オオミジンコ)	ErC50:>100mg/L(72h)(Freshwateralgae)

12.2 水生環境慢性有害性

水生環境慢性有害性 データなし

12.3 残留性・分解性

成分	持続性（水/土壌）	持続性（空気）
アガロース	低	低
えんかナトリウム	低	低
エタノール	低い（半減期=2.17 日）	低い（半減期=5.08 日）

12.4 生態蓄積性

成分	生態蓄積性	コメント
アガロース	低	LogKow=-1.38
えんかナトリウム	低	LogKow=0.5392
エタノール	低	LogKow=-0.31

12.5 土壌中の移動性

成分	logKoc	述べる	データソース
アガロース	1.155		Chemwatch
えんかナトリウム	1.155		Chemwatch
エタノール	0		ECHA

12.6 PBT および vPvB 評価の結果

成分	PBT および vPvB 評価結果[（EC）No.1907/2006、改正 2020/878 に基づく]
アガロース	データなし
蛋白質 A	データなし
えんかナトリウム	PBT/vPvB ではない
りん酸水素ナトリウム	適用できない
エタノール	PBT/vPvB ではない
水	PBT ではありません

12.7 オゾン層への有害性

成分	モントリオール議定書の附属書	述べる
アガロース	リストに載っていない	--
蛋白質 A	リストに載っていない	--
えんかナトリウム	リストに載っていない	--
りん酸水素ナトリウム	リストに載っていない	--
エタノール	リストに載っていない	--
水	リストに載っていない	--

項目 13:廃棄上の注意

13.1 廃棄上の注意

廃棄化學物質	廃棄する前に、関連する国および地域の法律と規制を参照してください。焼却処分の使用を推奨します。
汚染された包装	容器は空でも化学的危険性がある可能性があります。高温や発火源から遠ざけてください。可能な場合はサプライヤーに返却してリサイクルしてください。
廃棄に関する推奨事項	廃棄化学物質および汚染された包装のセクションを参照してください。

項目 14:輸送上の注意

14.1 ラベル

輸送ラベル 適用できない

14.2 IMDGCODE

IMDGCODE 危険物の輸送は規制されていません

液體の引火點が 35.0℃を超え、持続的な燃焼が不可能な場合、IMO2.3.1.3 の IMDG コードによれば、この規則の目的上、物品は可燃性液體とみなされる必要はありません。

14.3 ICAO/IATA-DGR

ICAO/IATA-DGR 危険物の輸送は規制されていません

液體の引火點が 35.0℃を超え、持続的な燃焼が不可能な場合、IATA の DGR3.3.1.3 によれば、この規則の目的上、この物品は可燃性液體とみなされる必要はありません。

14.4UN-ADR

UN-ADR 危険物の輸送は規制されていません

液體の引火點は 35.0℃を超えており、持続的な燃焼は不可能ですが、UNECE2.3.1.3 の ADR によれば、この規制の目的上、この物品は可燃性液體とみなされる必要はありません。

14.5 国内規制（船舶安全法の規定に基づく）

国内規制（船舶安全法の規定に基づく） 危険物の輸送は規制されていません

項目 15:適用法令

15.1 國際化學物質目録

成分	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
アガロース	√	√	√	√	√	√	√	√	×	×	×	√	√
蛋白質 A	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
えんかナトリウム	√	√	√	√	√	√	√	√	√	√	√	√	√
りん酸水素ナトリウム	√	√	√	√	√	√	√	√	√	√	√	√	√
エタノール	√	√	√	√	√	√	√	√	√	√	√	√	√
水	√	√	√	√	√	√	√	√	√	√	√	√	√

【A】 中國既存化學物質目録(IECSC)
【B】 歐州既存商業化學物質目録(ECinventory)
【C】 米國有害物質規制法目録(TSCA)
【D】 カナダ國内物質リスト(DSL)
【E】 ニュージーランド化學物質目録(NZIoC)
【F】 フィリピンの化學物質および化學物質目録(PICCS)
【G】 韓國既存化學物質目録(KECL)
【H】 オーストラリア。工業用化學物質目録(AIIC)
【I】 日本既存・新規化學物質目録(ENCS)
【J】 タイの既存化学物質インベントリー(TECI)
【K】 メキシコ国家化学物質目録(INSQ)
【L】 ロシアの既存物質目録(DRAFT)
【M】 台湾（中国）における既存化学物質目録(TCSI)

15.2 国際条約に基づく化学物質リスト

成分	A	B	C
アガロース	×	×	×
蛋白質 A	×	×	×
えんかナトリウム	×	×	×
りん酸水素ナトリウム	×	×	×
エタノール	×	×	×
水	×	×	×

【A】 オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書
【B】 残留性有機汚染物質（POPs）に関するストックホルム条約
【C】 国際貿易における特定の危険な化学物質および農薬に関する事前の情報に基づく同意手続きに関するロッテルダム条約

15.3 安衛法規制化学物質リスト

成分	A	B	C	D	E	F
アガロース	×	×	×	×	×	×
蛋白質 A	×	×	×	×	×	×
えんかナトリウム	×	×	×	×	×	×

りん酸水素ナトリウム	×	×	×	×	×	×
エタノール	√	×	×	引火性物質	×	×
水	×	×	×	×	×	×

【A】 安衛法：名称等を表示し、又は通知すべき化学物質
【B】 安衛法：濃度基準値設定物質
【C】 安衛法：有機溶剤
【D】 安衛法：危険物
【E】 安衛法：製造等の許可を要する化学物質
【F】 安衛法：製造等が禁止されている化学物質

15.4 化審法規制化学物質リスト

成分	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
アガロース	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
蛋白質 A	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
えんかナトリウム	×	×	×	×	×	×	×	×	√	×	×	√
りん酸水素ナトリウム	×	×	×	×	×	×	×	×	√	×	×	√
エタノール	×	×	×	×	×	×	×	×	√	×	×	√
水	×	×	×	×	×	×	×	×	√	×	×	√

【A】 日本化審法：第一種特定化学物質
【B】 日本化審法：第二種特定化学物質
【C】 日本化審法：監視化学物質
【D】 日本化審法：優先評価化学物質
【E】 日本化審法：（取消）優先評価化学物質
【F】 日本化審法：特定一般化学物質
【G】 日本化審法：新規公示化学物質（2011 年 3 月 31 日以前届出）
【H】 日本化審法：新規公示化学物質（2011 年 4 月 1 日以降届出）
【I】 日本化審法：既存化学物質
【J】 日本化審法：旧第二種監視化学物質
【K】 日本化審法：旧第三種監視化学物質
【L】 日本化審法：製造輸入量の届出を要しない物質

15.5 日本におけるその他の規制化学物質一覧

成分	A	B	C	D	E
アガロース	×	×	×	×	×
蛋白質 A	×	×	×	×	×
えんかナトリウム	×	×	×	×	×
りん酸水素ナトリウム	×	×	×	×	×
エタノール	×	√	×	×	×
水	×	×	×	×	×

【A】 日本 PRTR 法化学物質リスト
【B】 大気汚染防止法化学物質リスト
【C】 消防法：危険物
【D】 毒物及び劇物取締法化学物質リスト
【E】 日本水質汚濁防止法

注記:

"√"は規制対象物質であることを示します。
"×"データが無い、または規制に含まれていない。

項目 16:その他の情報

16.1 改訂に関する情報

作成日	2026/06/01
改訂日	2026/10/15
改訂理由	-

16.2 参照

[1] IPCS:國際化學物質安全性カード(ICSC)、ウェブサイト:http://www.ilo.org/dyn/icsc/showcard.home.
[2] IARC、ウェブサイト:http://www.iarc.fr/.
[3] OECD:化學物質情報の世界ポータル、ウェブサイト:https://www.echemportal.org/echemportal/.
[4] CAMEOChemicals、ウェブサイト:http://cameochemicals.noaa.gov/search/simple.
[5] NLM:ChemIDplus、Web サイト:http://chem.sis.nlm.nih.gov/chemidplus/chemidlite.jsp.
[6] EPA:統合リスク情報システム、ウェブサイト:http://cfpub.epa.gov/iris/.
[7] 米國運輸省:ERG、ウェブサイト:http://www.phmsa.dot.gov/hazmat/library/erg.
[8] ドイツ GESTIS 危険物質データベース、ウェブサイト:http://gestis-en.itrust.de/.

16.3 略語と頭字語

CAS	ケミカルアブストラクトサービス	UN	國連
PC-STEL	短期暴露限界	OECD	経済協力開発機構
PC-TWA	時間加重平均	IMDG-CODE	國際海上危険物規則
MAC	最大許容濃度	IARC	國際がん研究機関
DNEL	導出された無影響レベル	ICAO	國際民間航空機関
PNEC	予測無影響濃度	IATA	國際航空運送協會
NOEC	影響が認められない濃度	ACGIH	アメリカ政府産業衛生専門家會議
LC_{50}	致死濃度 50%	NFPA	全米防火協會
LD_{50}	致死量 50%	NTP	國立毒性學プログラム
EC_{50}	有効濃度 50%	PBT	持続性、生體蓄積性、毒性
EC_x	有効濃度 X%	vPvB	非常に持続性があり、生體蓄積性が高い
P_{OW}	分配係数オクタノール：水	CMR	発がん性物質、変異原性物質、生殖毒性物質
BCF	生物濃縮係數	RPE	呼吸保護具
ED	内分泌かく亂物質	G1	ヒトに対して発がん性がある
G2A	おそらくヒトに対して発がん性がある	G2B	ヒトに対して発がん性がある可能性がある

G3	ヒトに対して発がん性があるとはまだ分類されていない	G4	おそらくヒトに対して発がん性はない

16.4 免責事項

この安全データシート（SDS）は、JISZ7253:2025 に従って作成されました。含まれるデータは、國際的に権威のあるデータベースから取得され、企業によって提供されました。その他の情報は、當社の現在の知識に基づいています。當社はすべての情報の正確性を確保するよう努めていますが、情報源の多様性と當社の知識の限界により、この文書はユーザーの参考のみを目的としています。ユーザーは、特定の目的に対するこの情報の適合性について、獨自の判斷を行う必要があります。當社は、製品の取り扱い、保管、使用、または廃棄から生じる、または何らかの形で関連する損失、損害、または費用について責任を負いません。

研究用のみ。ヒトまたは動物を対象とした臨床試験、治療、あるいは診断への使用を目的としたものではありません。

Manufacturer: Nanjing GenScript Biotech Co., Ltd.　No. 28 Yongxi Road, Jiangning District, Nanjing, Jiangsu, China